

1 青森県の推計人口（平成17年9月1日現在）…………… 1

県人口	1,440,226人（対前月221人増加、対前年同月11,235人減少）
自然動態	258人減少（出生者数1,007人、死亡者数1,265人）
社会動態	479人増加（転入者数2,513人、転出者数2,034人）

2 本県の経済動向

(1) 経済概況

本県経済の動向は、雇用情勢にやや改善の傾向がみられるものの、全体としては、なお依然として厳しい状態にある。

(2) 主要経済指標の動向

(2-1) 製造業の生産動向 平成17年7月の青森県鉱工業生産指数(平成12年=100)は、季節調整済指数が85.4で、前月比6.5%の低下となり、2ヶ月ぶりに前月を下回った。また、原指数は89.5で、前年同月比8.8%の低下となり、3ヶ月連続で前年同月を下回った。

化学工業を除いた指数では、季節調整済指数が84.7で、前月比6.6%の低下(2ヶ月ぶり)、原指数が86.8で、前年同月比11.3%の低下(3ヶ月連続)となった。

(2-2) 雇用情勢 平成17年7月の現金給与総額は298,696円で前年同月比4.7%増となった。このうち、定期給与は234,062円で1.0%減となった。総実労働時間は、160.1時間で前年同月比2.6%減となり、所定外労働時間は8.8時間で前年同月比1.2%減となった。

平成17年8月の有効求人倍率(季節調整値)は0.40倍で、前月と同水準となった。

(2-3) 物価 平成17年8月の青森市消費者物価指数は、102.1となり、前月と比べ0.3%の下落、前年同月と同水準となった。

(2-4) 個人消費 平成17年7月の大型小売店販売額は150億5千万円で、前年同月比2.2%減となった。

平成17年8月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は2,723台で、前年同月比0.7%の減となり5ヶ月ぶりに前年を下回った。

(2-5) 住宅建設 平成17年8月の新設住宅着工戸数は618戸で、前年同月比15.7%減となり、2ヶ月ぶりに前年を下回った。

(2-6) 公共投資 平成17年8月の公共工事請負金額は、前年同月比0.6%増となった。

(3) 景気動向指数（平成17年7月分）…………… 7

先行指数	66.7%（4か月連続で50%を上回った）
一致指数	44.4%（8か月ぶりに50%を下回った）
遅行指数	50.0%（3か月連続で50%を下回った後50%となった）

1 青森県の推計人口（平成17年9月1日現在）

【概況】

平成17年9月1日現在の本県推計人口は、1,440,226人で、前月に比べ221人の増加、前年同月に比べると11,235人の減少となった。

○自然動態

出生者数が1,007人、死亡者数が1,265人で、258人の減少となった。

○社会動態

転入者数が2,513人、転出者数が2,034人で、479人の増加となった。

総人口の推移

(単位:人)

	総数	性別		対前月増減率	増減数	自然増減数			社会増減数	県外からの転入者数	県外への転出者数
		男	女			出生者数	死亡者数				
昭45.10.1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-	-	-
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	-
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	-
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	-
平2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
16.9.1	1,451,461	688,505	762,956	-0.007%	-101	-249	1,008	1,257	148	2,449	2,301
16.10.1	1,450,947	688,209	762,738	-0.035%	-514	-120	986	1,106	-394	1,618	2,012
16.11.1	1,450,734	688,048	762,686	-0.015%	-213	-258	911	1,169	45	1,791	1,746
16.12.1	1,450,219	687,716	762,503	-0.035%	-515	-300	965	1,265	-215	1,431	1,646
17.1.1	1,449,732	687,374	762,358	-0.034%	-487	-343	879	1,222	-144	1,275	1,419
17.2.1	1,448,945	686,936	762,009	-0.054%	-787	-507	913	1,420	-280	1,237	1,517
17.3.1	1,448,216	686,552	761,664	-0.050%	-729	-339	849	1,188	-390	1,233	1,623
17.4.1	1,441,447	682,719	758,728	-0.467%	-6,769	-668	854	1,522	-6,101	4,133	10,234
17.5.1	1,441,973	683,207	758,766	0.036%	526	-476	818	1,294	1,002	4,425	3,423
17.6.1	1,441,389	682,825	758,564	-0.041%	-584	-301	956	1,257	-283	1,693	1,976
17.7.1	1,440,721	682,329	758,392	-0.046%	-668	-320	831	1,151	-348	1,434	1,782
17.8.1	1,440,005	681,879	758,126	-0.050%	-716	-227	844	1,071	-489	1,906	2,395
17.9.1	1,440,226	681,995	758,231	0.015%	221	-258	1,007	1,265	479	2,513	2,034

8月中の人口動態の推移

(単位:人)

年月		平8.8	9.8	10.8	11.8	12.8	13.8	14.8	15.8	16.8	17.8
自然動態	出生者数	1,152	1,163	1,175	1,182	1,143	1,159	1,082	1,000	1,008	1,007
	死亡者数	954	959	968	1,170	1,057	1,023	1,058	1,075	1,257	1,265
	自然増減数	198	204	207	12	86	136	24	-75	-249	-258
社会動態	県外からの転入者数	2,946	2,647	2,772	2,835	2,780	2,798	2,645	2,639	2,449	2,513
	県外への転出者数	2,102	1,958	2,005	1,957	2,116	2,111	2,069	2,188	2,301	2,034
	社会増減数	844	689	767	878	664	687	576	451	148	479

※1 平成2、7、12年は国勢調査による数値。

※2 平成16年9月1日から平成17年9月1日までの人口は平成12年国勢調査人口(確定値)を基礎に推計している。

※3 増減数は、平成2、7、12年が前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

※4 算出方法

県の推計人口=前月の人口+自然増減数(出生者数-死亡者数)+社会増減数(県外からの転入者数-県外への転出者数)

※5 これまで社会動態の算定には、県間移動数に加え県内市町村間移動数も含めていたが、県内市町村間移動者数を含めないこととし修正を行なったことから、過去の公表数値と異なっている。

※6 県の推計人口には、県内市町村間の移動者数を含んでいない為、各市町村の推計人口の総計とは一致しない。

2 本県の経済動向

(2) 主要経済指標の動向

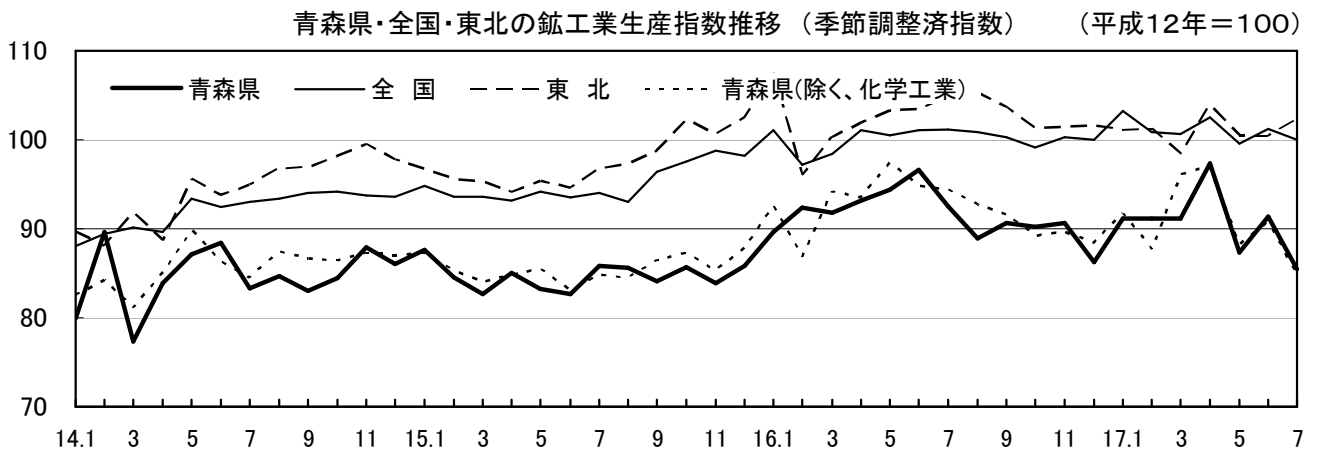
(2-1) 製造業の生産

平成17年7月の青森県鉱工業生産指数(平成12年=100)は、季節調整済指数が85.4で、前月比6.5%の低下となり、2ヶ月ぶりに前月を下回った。また、原指数は89.5で、前年同月比8.8%の低下となり、3ヶ月連続で前年同月を下回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、電子部品・デバイス工業、鉱業、窯業・土石製品工業などが上昇に寄与した一方、食料品工業、電気機械工業、一般機械工業などが低下し、鉱工業全体では6.5%の低下となった。

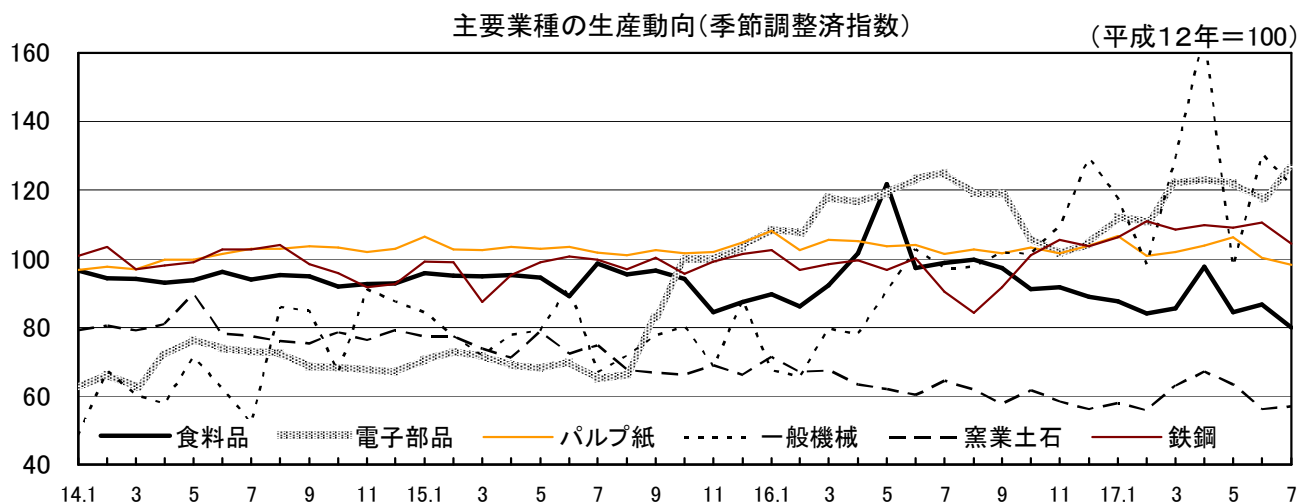
(化学工業を除いた指数について)

季節調整済指数が84.7で、前月比6.6%の低下(2ヶ月ぶり)、原指数が86.8で、前年同月比11.3%の低下(3ヶ月連続)となった。



◎業種別動向(前月比) 鉱工業全体 -6.5%

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
電子部品・デバイス工業	7.3	22.5	食料品工業	-7.7	-38.3
鉱業	6.9	1.9	電気機械工業	-17.9	-21.9
窯業・土石製品工業	1.6	1.1	一般機械工業	-6.9	-11.9
繊維工業	1.5	1.0	金属製品工業	-15.5	-10.6
その他製品工業	2.2	0.5	化学工業	-7.9	-9.3



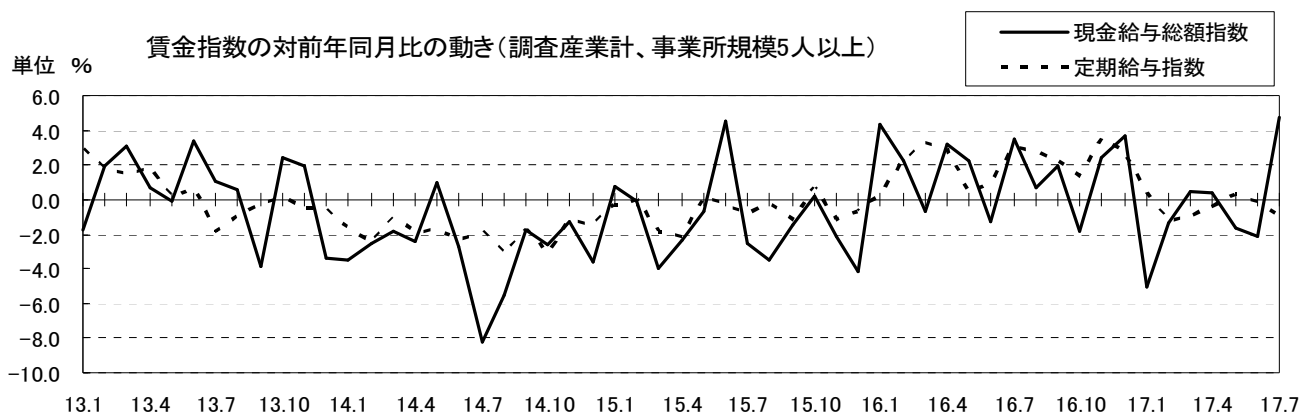
資料: 県統計分析課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

(2-2) 雇用情勢

平成17年7月の現金給与総額は298,696円で現金給与総額指数(平成12年=100)では103.5となり、前年同月比4.7%増となった。このうち、定期給与は234,062円で定期給与指数では98.6となり、前年同月比1.0%減となった。実額で比較した定期給与の全国対比は85.9となった。

所定外労働時間は8.8時間で、所定外労働時間指数では102.3となり、前年同月比1.2%減となった。

平成17年8月の有効求人倍率(季節調整値)は0.40倍で、前月と同水準となった。



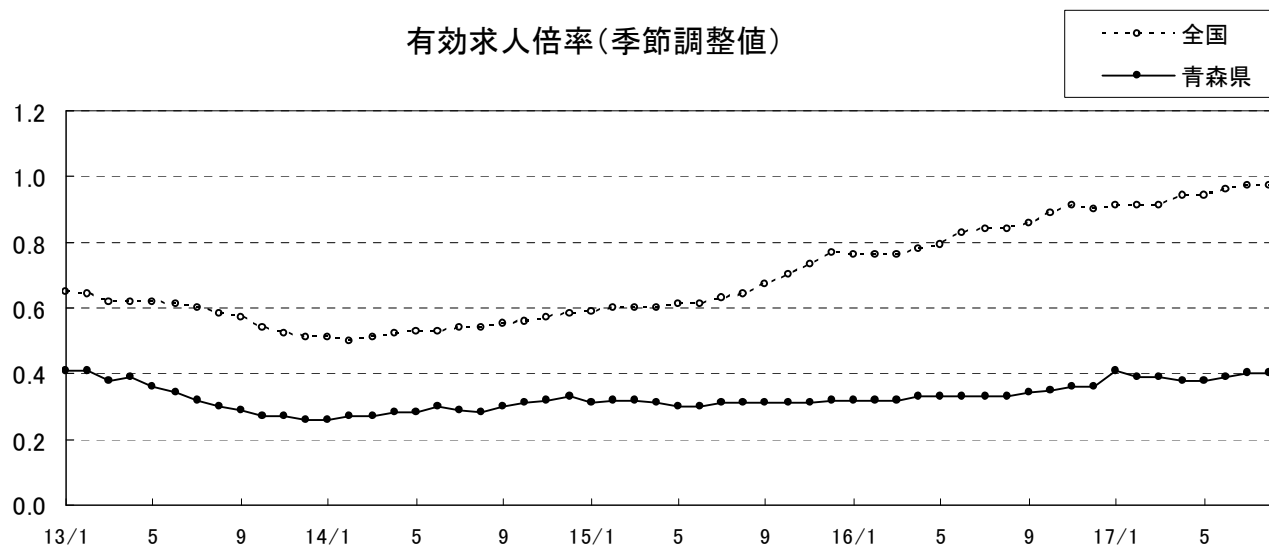
賃金及び労働時間の動き(調査産業計、事業所規模5人以上)

	実数		指数(H12=100)		対前年同月増減率	
	県	全国	県	全国	県	全国
現金給与総額	298,696 円	396,482 円	103.5	112.2	4.7 %	1.3 %
定期給与	234,062 円	272,542 円	98.6	96.6	-1.0 %	0.2 %
特別給与	64,634 円	123,940 円	—	—	—	—
総実労働時間	160.1 時間	152.8 時間	101.1	99.3	-2.6 %	-1.5 %
所定内労働時間	151.3 時間	142.5 時間	100.9	98.9	-2.7 %	-1.7 %
所定外労働時間	8.8 時間	10.3 時間	102.3	105.1	-1.2 %	1.0 %

(注)1.定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。

2.前年同月比は指数によって算出している。

資料：県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」



資料：青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」

(2-3) 物価

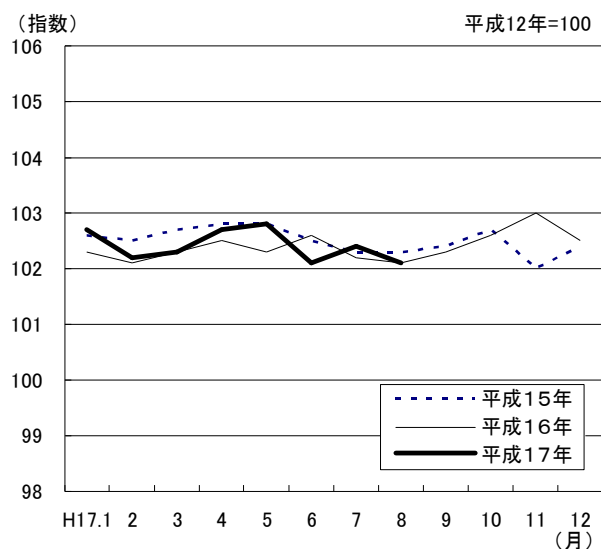
平成17年8月の青森市消費者物価指数（平成12年=100）は、総合指数が102.1となり、前月と比べ0.3%の下落、前年同月と同水準となった。

生鮮食品を除く総合指数は102.7となり、前月と同水準、前年同月と比べ0.2%の上昇となった。

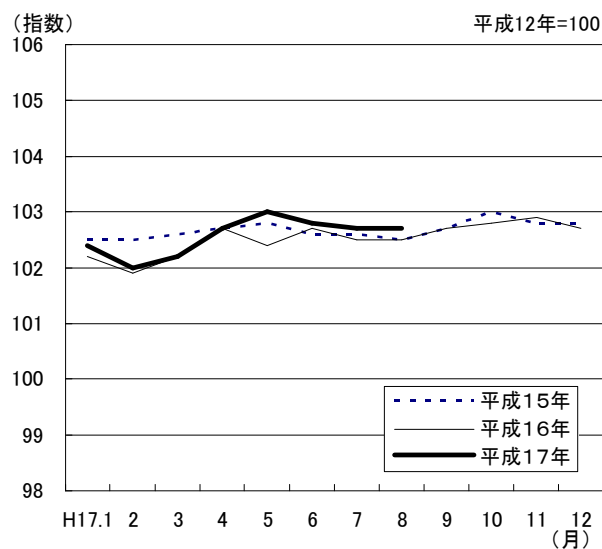
総合指数の前月比が0.3%の下落となった内訳を寄与度でみると、食料、被服及び履き物の下落が要因となっている。

総合指数が前年同月と同水準となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道、住居の上昇及び食料の下落が要因となっている。

総合指数の動き



生鮮食品を除く総合指数の動き



10大費目指数の動き

(平成12年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	持家の 帰属家賃を除く総合	食料	生鮮食品	住居	光熱・水道	家具・ 家事用品	被服及履き物	保健医療	交通・通信	教育	教養	諸雑費
当月指数	102.1	102.7	97.5	96.8	91.5	122.7	105.9	79.5	83.6	104.6	97.9	110.9	91.2	99.4
前月比(%)	▲ 0.3	0.0	▲ 0.3	▲ 1.5	▲ 4.7	0.0	▲ 0.3	0.3	▲ 2.6	0.5	1.1	0.0	1.8	0.0
寄与度	▲ 0.30	0.00	▲ 0.25	▲ 0.41	▲ 0.23	0.00	▲ 0.02	0.01	▲ 0.13	0.02	0.12	0.00	0.15	0.00
前年同月比(%)	0.0	0.2	▲ 0.3	▲ 2.3	▲ 4.3	1.4	5.4	▲ 0.7	▲ 2.7	0.6	▲ 0.4	1.8	▲ 1.1	1.7
寄与度	0.00	0.19	▲ 0.25	▲ 0.64	▲ 0.21	0.35	0.44	▲ 0.02	▲ 0.14	0.02	▲ 0.04	0.07	▲ 0.09	0.07

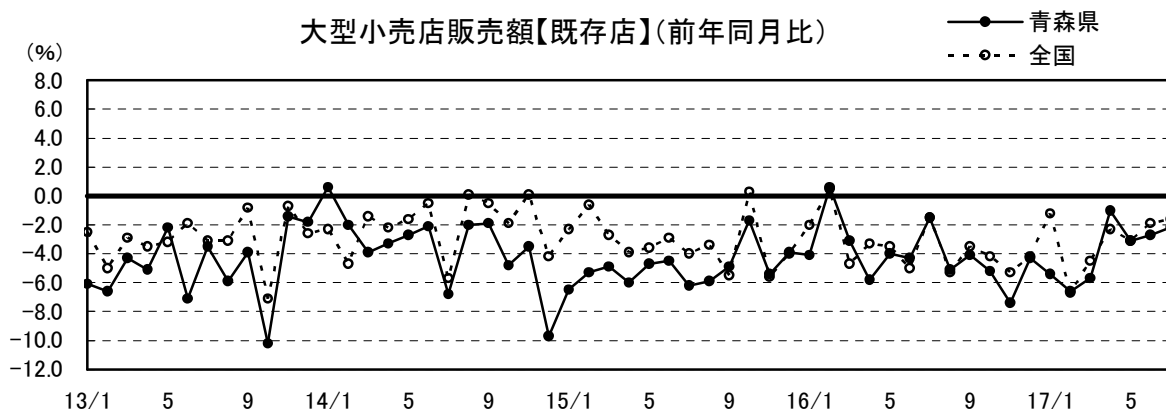
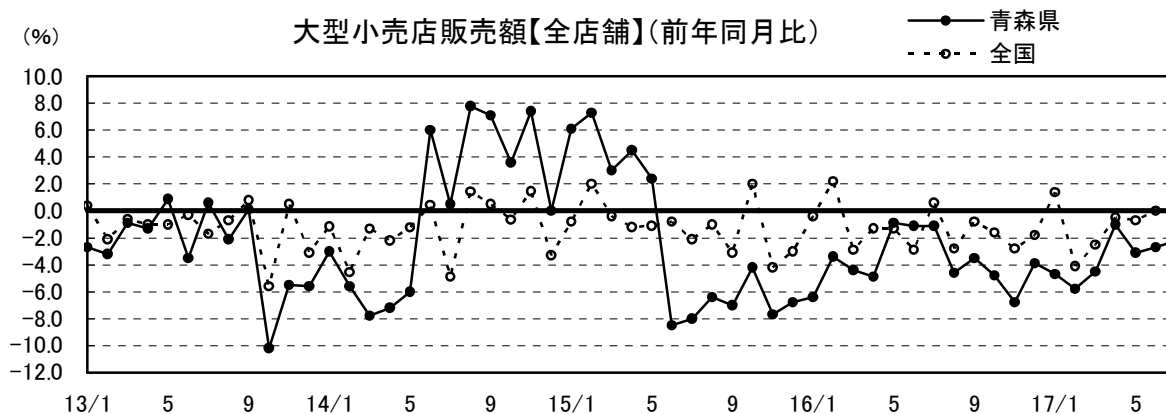
資料：県統計分析課「消費者物価指数月報」（速報）

※ 寄与度とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、総合指数の変化率に一致する。

(2-4) 個人消費

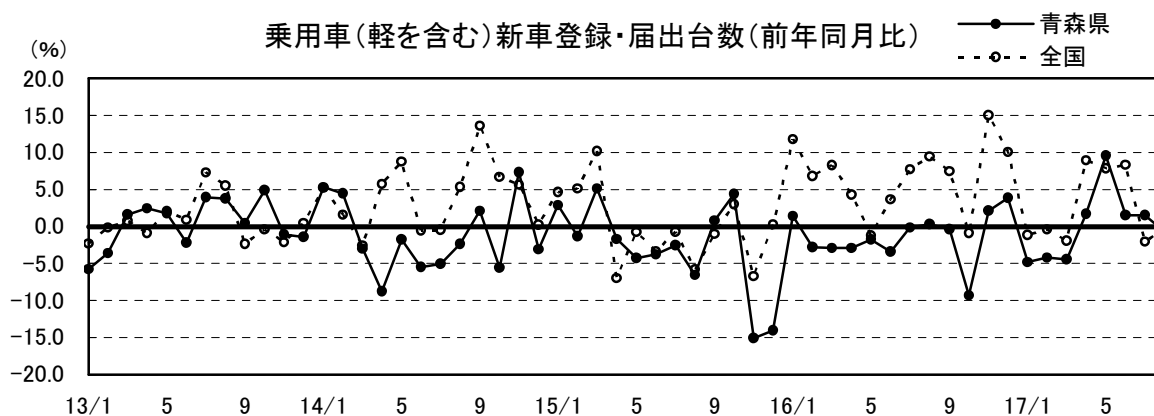
平成17年7月の大型小売店販売額は、前年同月比2.2%減の150億5千万円で全店舗ベースが26ヶ月連続、既存店ベースが17ヶ月連続のマイナスとなった。飲食料品は横ばいだったが、衣料品が不振だったことによる。

平成17年8月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は2,723台で、前年同月比0.7%減となり5ヶ月ぶりで前年を下回った。小型乗用車は7ヶ月連続、軽自動車も2ヶ月連続でプラスだったが、普通乗用車のマイナス幅が大きかったことによる。



資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」

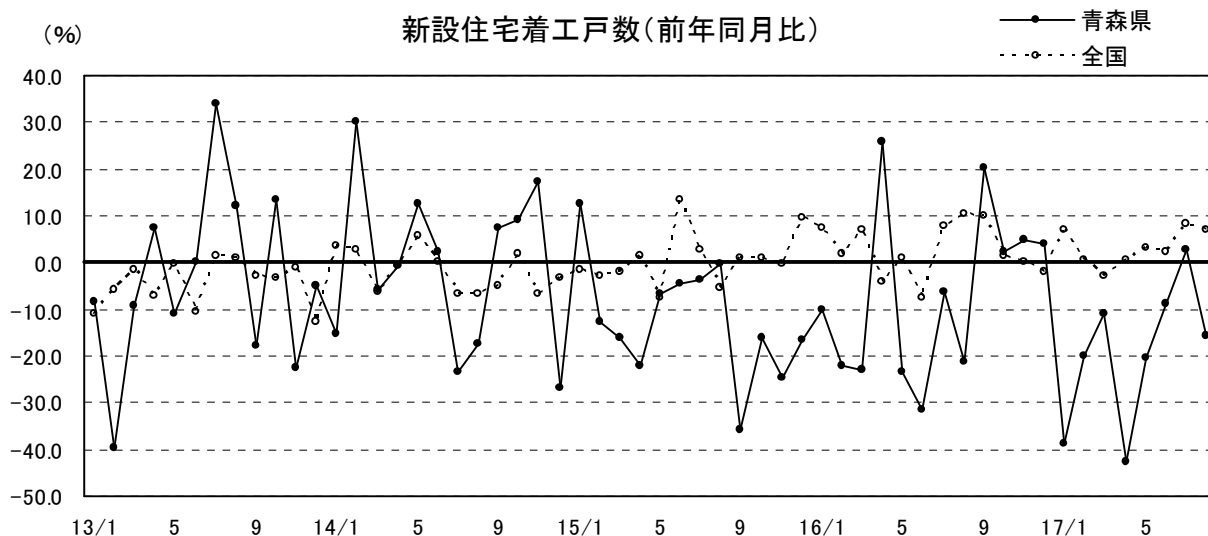
* 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。



資料：青森県自動車会議所「車種別登録・届出台数」、日本自動車販売協会連合会「自動車統計データ」

(2-5) 住宅建設

平成17年8月の新設住宅着工戸数は618戸で、前年同月比15.7%減となり、2ヶ月ぶりに前年を下回った。前月プラスだった持家と貸家がいずれもマイナスに転じたことによる。

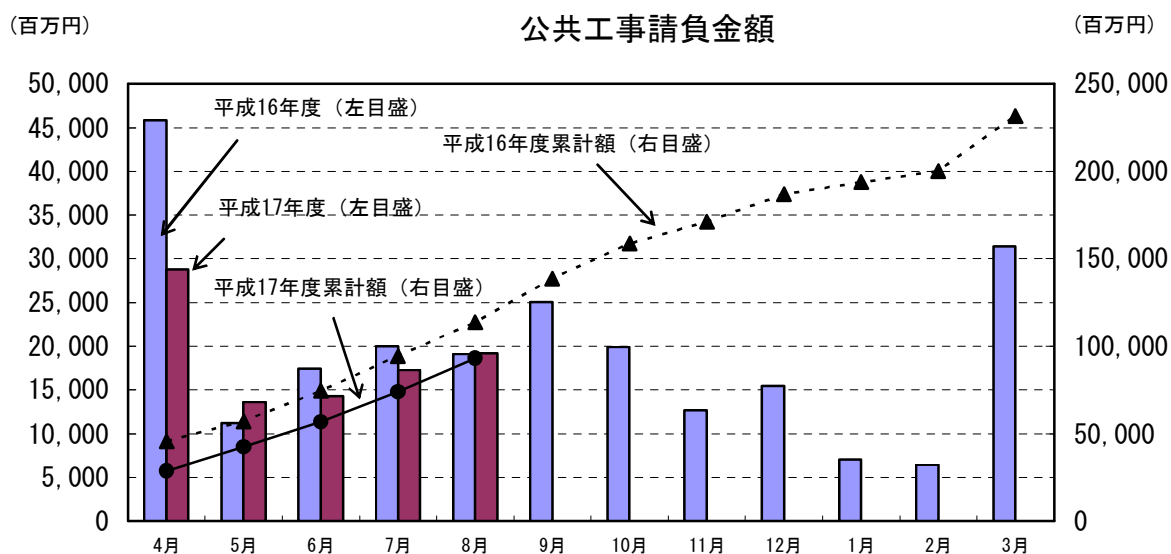


資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」

(2-6) 公共投資

平成17年8月の公共工事請負金額は、192億2千2百万円で前年同月比0.6%増となった。発注主体別では、国が16.0%増、県が19.1%減、市町村が14.3%減、その他が356.0%増となった。

また、4月からの累計では18.0%減となっている。



資料：東日本建設業保証(株)青森支店「青森県内の公共工事の動向」

(3) 青森県景気動向指数

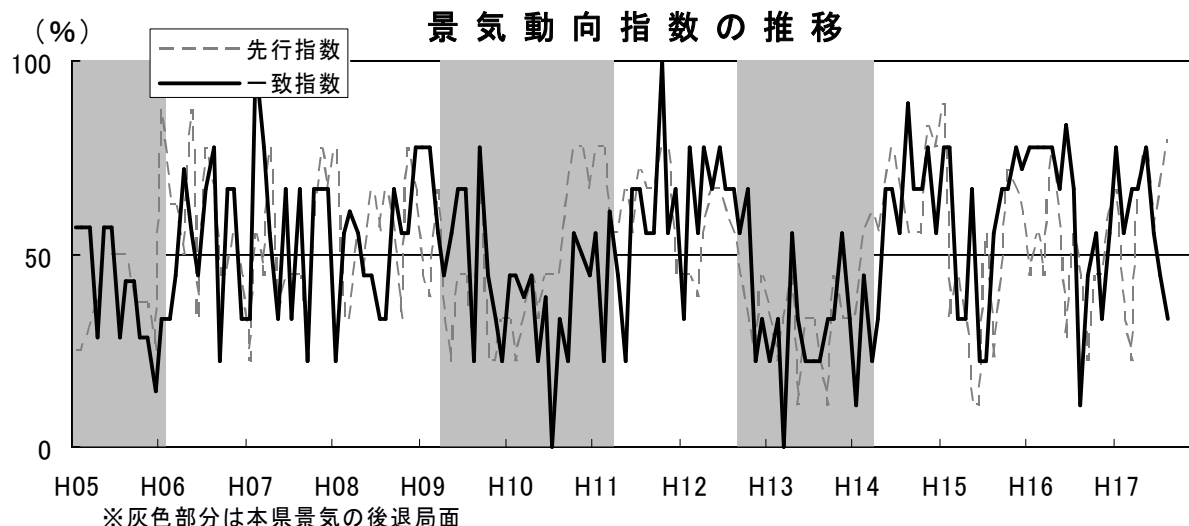
平成17年7月の青森県景気動向指数は、先行指数66.7%、一致指数44.4%、遅行指数50.0%となった。

先行指数は、4か月連続で50%を上回った。

一致指数は、8か月ぶりに50%を下回った。

遅行指数は、3か月連続で50%を下回った後50%となった。

7月の一致指数は、生産関連の指標等がマイナスとなったことから、50%を下回った。



●個別系列の動き (各指標は季節調整等を行い、5ヶ月前と比較しています)

プラスの指標		マイナスの指標	
先行系列 (9指標中6指標がプラス)			
乗用車新車登録届出台数	2か月ぶり	新規求人倍率 (全数)	3か月ぶり
生産財生産指数	2か月ぶり	所定外労働時間指数 (全産業)	2か月ぶり
入職率 (製造業)	4か月連続	企業倒産負債額	2か月ぶり
新設住宅着工床面積	2か月連続		
建築着工床面積 (鉱+商+サ)	4か月連続		
中小企業景況DI	2か月連続		
一致系列 (9指標中4指標がプラス)			
大型小売店販売額 (既存店)	4か月連続	鉱工業生産指数	7か月ぶり
大口電力使用量	2か月ぶり	電気機械生産指数	2か月連続
有効求人数 (全数)	23か月連続	総実労働時間数 (全産業)	2か月ぶり
東北自動車道IC利用台数	3か月連続	海上出入貨物量 (八戸港)	3か月連続
		日銀券月中発行高	2か月連続
遅行系列 (6指標中3指標がプラス)			
1人平均月間現金給与総額	3か月ぶり	勤労者世帯家計消費支出 (実質)	2か月連続
単位労働コスト (製造業)	2か月連続	常用雇用指数 (製造業)	2か月ぶり
青森市消費者物価指数 (帰属家賃除く)	2か月ぶり	輸入通関実績 (八戸港)	3か月連続

資料：県統計分析課「青森県景気動向指数月報」